

事業報告書

(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

長崎本線江北・諫早間については、令和4年9月23日の西九州新幹線の開業と同時に上下分離方式へ移行した。

西九州新幹線の開業後においても、上下分離後の鉄道が、当該区間沿線の通勤・通学等の交通手段としての役割だけでなく、地域の様々な魅力的な取組をつなぎ、それらが相乗効果を発揮することで、全域の振興に広がるための基盤となることが期待されている。

このため、当法人は、江北・諫早間の鉄道施設の適切な維持管理に向け、次のとおり事業を実施した。

1. 第三種鉄道事業に係る鉄道施設の資産除却

(1) 資産除却

令和6年度に鉄道の維持管理等のために行った工事のうち、以下のとおり基本財産を除却し、基本財産が減少となった。

区 分	件 数	金額(円)	備 考
建物	0	0	
建物付属設備	0	0	
機械装置	0	0	
構築物	27	27	線路設備・電路設備

2. 第三種鉄道事業

(1) 鉄道施設の維持管理

J R九州との維持管理協定等に基づき、鉄道施設の適切な維持管理に努めた。

- ・ 鉄道施設の維持管理 741,334千円
- ・ 長崎本線肥前浜～諫早間の電化設備撤去工事 123,802千円
- ・ 長崎本線東諫早駅及び里信号場の信号方式変更工事 9,513千円

※設備投資及び消費税を含む。

(2) 輸送の安全の確保

運行を担当するＪＲ九州との連携等により、長崎本線の輸送の安全確保に努めた。

(3) 安全対策

上下分離後において、重大な事故等の発生はなかったが、踏切事故や感電事故の防止等に向け、ＪＲ九州と共同で啓発資材等を作成し周知に努めた。

(4) 付帯事業

付帯事業として、駐車場や土地等の貸付業務を行った。

不動産貸付収入等 4,105千円（消費税を除く。）

3. 理事会の開催

当法人の理事の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するとともに当法人の業務の適正を確保するため、次のとおり理事会を開催した。

会議名	主な議案等	開催日	備考
第1回 臨時理事会	・ 理事の選任	令和6年 4月1日	(旧) 山下宗人 (新) 南里 隆
第2回 臨時理事会	・ 代表理事の選任	令和6年 4月1日	(旧) 山下宗人 (新) 南里 隆
第3回 臨時理事会	・ 理事の選任	令和6年 4月22日	(旧) 南里 隆 (新) 引馬誠也
第4回 臨時理事会	・ 代表理事の選任	令和6年 4月22日	(旧) 南里 隆 (新) 引馬誠也
第1回 通常理事会	・ 令和5年度事業報告及び決算 ・ 職務執行状況報告 ・ 運輸安全マネジメント	令和6年 6月7日	
第5回 臨時理事会	・ 職務執行状況報告 ・ 運輸安全マネジメント	令和6年 10月23日	
第6回 臨時理事会	・ 理事の選任	令和6年 10月31日	(旧) 黒木隆浩 (新) 岩橋良憲

第7回 臨時理事会	・ 令和6年度補正予算（繰越明許費）	令和7年 1月29日	鉄道橋りょうの架 替に係る詳細設計
第2回 通常理事会	・ 令和6年度補正予算 ・ 令和7年度事業計画及び予算 ・ 令和7年度会費 ・ 職務執行状況報告 ・ 運輸安全マネジメント	令和7年 3月27日	

4. 直近2事業年度の財産及び損益の状況 (単位：千円)

区分	令和5年度	令和6年度	備考
事業収益（負担金）	1,074,556	1,241,230	会費
雑収益	6,387	8,128	不動産貸付、利息等
経常収益	1,080,943	1,249,358	
事業費	741,343	802,490	鉄道事業維持管理経費
管理費	13,515	14,615	事務所運営経費
経常費用	754,858	817,104	
経常増減額	326,085	432,254	
法人税等	1,012	939	
正味財産期末残高	580,242	1,017,257	

5. 設備投資の状況

当事業年度に実施した設備投資の総額は 309,139千円であり、その主な内容は次のとおり。

・ 鉄道施設の維持管理に係る設備投資 (安全対策)

高圧配電線路等の更新	46,506千円
踏切保安装置等の更新・改良	61,477千円
線路座屈防止板の新設	9,099千円
信号線路の鋼帯外装化	6,293千円
トラフ橋等新設	14,140千円
路盤改良等	16,473千円

(沿線環境改善・経費節減)

防草シート新設	64,998千円
屋根・外装改修	997千円
・東諫早駅及び里信号場信号方式変更に係る設備投資	
信号方式の変更の設計	8,451千円
・多良駅ホームへのアプローチ改良に係る設備投資	
アプローチ改良	32,552千円
・橋梁架替え工事に係る設備投資	
橋梁架替えの詳細設計	48,153千円